

新機能および変更された機能に関する情報

この章では、『Cisco Nexus 7000 シリーズNX-OS 基本コマンドリファレンス』の新機能および変更された機能に関するリリース固有の情報を示します。

Cisco NX-OS Release 6.x に関する追加情報を確認するには、次のシスコ Web サイトにアクセスして、『Cisco NX-OS Release Notes』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/prod_release_notes_list.html

表 1 では、『Cisco Nexus 7000 シリーズNX-OS 基本コマンドリファレンス』における新機能および変更された機能を要約し、その参照先を示しています。

表 1 リリース 6.x の新機能と変更点

機能	変更の内容	変更されたリリース	参照先
POAP	このコマンドが追加されました。	6.1(2)	copy scheduled-config
	このコマンドが追加されました。	6.1(2)	source
pong サービス	コマンド出力が変更されました。	6.1(1)	pong
非アクティブ設定のクリア： ACL、QoS	Cisco NX-OS デバイスから非アクティブな ACL および QoS 設定を削除できます。	5.2(1)	clear inactive-config acl clear inactive-config acl qos clear inactive-config qos
Pong サービス	Pong サービスによって遅延メトリックが指定されているネットワーク内の 2 つのスイッチまたは 2 つのポート間の遅延をモニタできます。	5.2(1)	feature pong pong
Clock Manager	仮想デバイス コンテキストのクロックのプロトコルを設定できます。	5.2(1)	clock protocol
ライセンスング	Cisco NX-OS デバイスの機能で使用可能なパッケージのライセンス情報を表示できます。	5.2(1)	show license feature package mapping
ラインカードの同時アップグレード	3 つのラインカードを同時にアップグレードできます。	5.2(1)	install all parallel
フィーチャ セット	新しい高機能、特定の機能セットを実行するフィーチャ セットが導入されました。	5.1(1)	allow feature-set feature-set install feature-set show feature-set

表 1 リリース 6.x の新機能と変更点 (続き)

機能	変更の内容	変更されたリリース	参照先
ファイルの安全な転送	シスコ デバイスとの間で、設定ファイルおよびイメージ ファイルを安全に転送できます。	5.0(2)	sscp
インストールの失敗に関するログ	スタンバイ スーパーバイザ モジュールではインストールの失敗に関するログを消去できます。	4.2(1)	clear install all failed-standby
コマンド構文	コマンド モードで利用可能なコマンドの構文を表示できます。	4.2(1)	show cli syntax
実行コンフィギュレーション	実行コンフィギュレーションを表示する場合に機能の設定情報を除外できます。	4.2(1)	show running-config
スタートアップ コンフィギュレーション	スタートアップ スタートアップ コンフィギュレーションを表示する場合に機能の設定情報を除外できます。	4.2(1)	show startup-config
I/O モジュール コマンド	スーパーバイザ モジュール セッションから I/O モジュールにコマンドを送信できます。	4.2(1)	slot
tar ファイル	tar ファイルを作成および管理できます。	4.2(1)	tar append tar create tar extract tar list
コマンドエイリアス	ユーザ アカウント専用のエイリアスを作成できます。	4.2(1)	terminal alias
ターミナル画面の色	ターミナルセッションでの情報の色を設定できます。	4.2(1)	terminal color
コマンド確認プロンプト	コマンド確認プロンプトの表示をイネーブルまたはディセーブルにすることができます。	4.2(1)	terminal dont-ask
コマンド編集モード	コマンド編集モードを <code>emacs</code> または <code>vi</code> に設定できます。	4.2(1)	terminal edit-mode vi
コマンド履歴	コンフィギュレーション モードからコマンド履歴を表示する場合に EXEC コマンドを除外できます。	4.2(1)	terminal history no-exec-in-config
コマンド ロギング	アカウントिंग ログでのすべてのコマンドのロギングをイネーブルまたはディセーブルにすることができます。	4.2(1)	terminal log-all
リダイレクト出力フォーマット	<code>show</code> コマンド出力のフォーマットを ASCII または ZIP のいずれかに設定できます。	4.2(1)	terminal redirection-mode
ライセンスング	Cisco NX-OS ソフトウェア ライセンスの更新時にファイルの名前を指定できます。	4.2(1)	update license
モデム接続	モデム接続を開始または再開することができます。	4.1(2)	modem connect line modem restart line
コマンドモードコンテキスト	コマンドモード コンテキストを保存し、復元できます。	4.1(2)	pop push

表 1 リリース 6.x の新機能と変更点 (続き)

機能	変更の内容	変更されたリリース	参照先
バージョン情報の表示	デバイスで実行されているシステム イメージとキックスタート イメージのビルド情報を表示できます。	4.1(2)	show version
コマンドライン プロンプトへのテキストのエコー	echo コマンドで -e が backslash-interpret に変更されました。	4.0(2)	echo

